



TITLE:

<水族館報告>水族館記録: 2013年

AUTHOR(S):

CITATION:

<水族館報告>水族館記録: 2013年. 京都大学瀬戸臨海実験所年報 2015, 27: 10-11

ISSUE DATE:

2015-01-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/193458>

RIGHT:

水族館記録 — 2013 年

1. 研究・教育

- 1月4日 豊中高校（10人）のバックヤード見学およびエサやり体験を指導した。
- 5月15日 東陽中学校の中村遼太郎君の職場体験を指導した。
- 5月23日 日置中学校（生徒18人、教諭3人）のバックヤード見学を指導した。日高高等学校附属中学校（生徒80人）に館内生物の解説を行った。
- 5月24日 白浜第二小学校（生徒17人、教諭・保護者18人）のバックヤード見学を指導した。
- 5月27日 畠島のウニ個体数調査を行った。
- 5月30日 大阪市立鯉江東小学校（生徒61人）に館内生物の解説を行った。
- 6月14日 開智中学校（生徒34人、教諭2人）のバックヤード見学を指導した。
- 7月25日 白浜中学校の地域学習インタビューに回答した。
- 8月1日 白浜小学校2年生部会および6年生部会のバックヤード見学と生物集計体験を指導した。
- 8月12-16日 博物館実習を行った。実習生は3名で、給餌、水槽掃除、生物採集や濾過槽管理などを指導した。
- 10月17日 奈良女子大学のサイエンス・オープン・ラボで使用するため、ヒトデ類5個体を遊佐陽一教授（奈良女子大）に提供した。

2. 普及

- 1月7日 「冬休み解説ツアー」を、教員5人と飼育担当3人および研究員2人で、前年12月22日より実施した。10時45分から表側の展示水槽を、11時15分からバックヤードを案内・説明し（定員各10人）、表側81人、裏側107人が参加した。
- 2月16日 「水族館の飼育体験」（13:30-15:30）（和歌山県教育委員会主催「きのくに県民カレッジ」の連携講座）を行った。参加者は21名。
- 3月6日 学研の生物写真撮影取材に対応した。
- 3月23日-4月7日 「春休み解説ツアー」を、教員4人と飼育担当3人、および研究員1人で実施した。毎日10時45分から表側の展示水槽を、11時15分からバックヤードを案内・説明し（定員各10人）、表側96人、裏側112人が参加した。
- 3月23日-4月7日 「大水槽のエサやり」を飼育担

当4人で実施した。毎日、14時45分から約15分、101号水槽と226号水槽のエサやりを体験してもらった。参加者は156人。

- 3月23日 紀伊民報が「大水槽エサやり」の様子を取材した。

- 4月13日 「水族館の磯採集体験」（13:30-15:30）（和歌山県教育委員会主催「きのくに県民カレッジ」の連携講座）を行った。参加者は17名。

- 4月16日 毎日新聞、読売新聞、産経新聞、テレビ和歌山各社が、オレンジ色のオニオコゼについて取材した。

- 4月24日 紀伊民報が巨大イセエビについて取材した。

- 5月11日 「水族館の飼育体験」（13:30-15:30）（和歌山県教育委員会主催「きのくに県民カレッジ」の連携講座）を行った。参加者は13名。本来は「水族館の磯採集体験」を行う予定だったが、雨天のため「水族館の飼育体験」に変更した。

- 6月4日 JR白浜駅に、90cm水槽を2基設置し、一方に魚類を、もう一方に無脊椎動物を収容して、展示を開始した。

- 6月8日 「水族館の磯採集体験」（13:30-15:30）（和歌山県教育委員会主催「きのくに県民カレッジ」の連携講座）を行った。参加者は20名。

- 7月21日-9月1日 「夏休み解説ツアー」を、教員5人と飼育担当3人および研究員4人で実施した。10時45分から表側の展示水槽を、11時15分からバックヤードを案内・説明し（定員各10人）、表側294人、裏側379人が参加した。

- 7月22日-8月28日 「大水槽エサやり体験」を飼育担当3人で実施した。毎週月・火・水曜日の14時45分から約15分、101号水槽と226号水槽のエサやりを体験してもらった。参加者は171人。

- 7月23日-24日 毎日新聞、産経新聞、朝日新聞、紀伊民報、テレビ和歌山各社が、水族館裏で開花したリュウゼツランについて取材した。

- 7月28日、8月25日 「海の生き物何でも相談会」を実施した。7月28日、8月25日の2日間で13時00分から16時30分まで、海の生き物に関する様々な質問に回答した。

- 8月22日 eo光TVの取材に対応した。

- 8月22日 紀伊民報が「海の生き物何でも相談会」について取材した。

3. 収集・飼育・展示・生物観察メモ

- 2月1日-4日 第2水槽室各水槽の照明に、UVカットアクリル板を取り付けた。
- 2月6日 ウォールケース内の朝倉彰教授の研究紹介パネル前に、甲殻類の脱皮殻標本を展示した。
- 3月13日 202号水槽（「刺胞動物門鉢虫綱・花虫綱」のウミケムシが増加したので、淡水を張り掃除した。その後、3月21日に循環を復旧させた。
- 3月29日 202号水槽のバイクライト照明がショートしたため、照明を取り外した。また、他の照明も腐食がすすんでいたため、第2水槽のバイクライト照明をすべて取り外した。
- 6月8日 306号水槽の漏水が悪化したため、展示を中止し、水槽を解体した。
- 7月8日-13日 403号水槽（「岩礁黒潮の豊かな生物」）のベラ類・スズメダイ類に異常が見られたため、第3水槽室の実験水槽に移動させ、403号水槽を掃除した。その後7月13日にベラ類・スズメダイ類を403号水槽に戻した。
- 11月1日-26日 改修工事に伴い、各水槽の生物を順次移動・放流した。
- 12月16日-31日 101号水槽の、ロウニンアジとギンガメアジなど計89個体が死亡した。温調機器更新のため、第1水槽室の水温を上げられなかったのが原因と考えられる。

4. 受贈

- 2月26日 真鍋豊守さん（白浜町）より、チトセボラ1個体（殻長9cm、塔島）。
- 3月7日 片山博之さん（白浜町）より、ハナミノカサゴ1尾（全長25cm、瀬戸港）。

- 4月1日 今西るいさん（大阪）より、イボイワオウギガニ1個体（殻長5cm、北浜）。
- 4月17日-11月4日 真鍋和功さん（白浜町）より、イタチウオ1尾（全長38cm、田辺湾）など8種8個体。
- 4月26日 真鍋克次さん（白浜町）より、カスザメ1尾（全長100cm、千畳沖）。
- 5月15日 大江富夫さん（白浜町）より、ハナデンシャ1個体（全長6cm、田辺湾）。
- 6月11日-9月20日 山名裕介さん（県立自然博物館）より、ウナギ3尾（全長60-70cm、富田川）、アオヤガラ1尾（全長20cm、北浜）ツマジロオコゼ1尾（全長8cm、北浜）。
- 7月8日 田上拓也さん（白浜町）より、スィショウガイ1個体（殻長7cm、田辺湾）。
- 7月9日 岡本昭夫さん（白浜町）より、アカササノハベラ1尾（全長8cm、袋港）。
- 7月25日-9月5日 真鍋正さん（白浜町）より、カバミナシ1個体（殻長10cm、田辺湾）。オオヒライソガニ1個体（殻長4cm、東白浜）。
- 8月15日 榎健吾さん（白浜町）より、ハナオコゼ1尾（全長12cm、白良浜）。
- 8月17日 田野清蔵さん（白浜町）より、ヤツシロガイ1個体（全長16cm、島島周辺）。
- 9月9日-27日 苫谷泰雄さん（田辺市）より、カイカムリ1個体（殻長12cm、千畳沖）。メガネカラッパ3個体（殻長8-9cm、千畳沖）。
- 10月7日 長野秀己さん（白浜町）より、タガヤサンミナシ1個体（殻長5cm、見草崎）。

5. その他

- 5月31日 日本動物園水族館協会を退会した。
- 11月1日 耐震工事および改修工事が開始され、水族館を休館とした。なお、水族館は2014年7月5日に再開館した。